

芹 沢 銈 介 美 術 工 芸 館

(国見キャンパス2号館)

特別展 「アイヌの工藝 -衣装・木工・アイヌ絵-

2016年9月26日(月)～2017年2月17日(金)

当館ではアイヌに関する資料を100点余り収蔵しています。染織品、装身具、漆器、木工品、アイヌ絵（アイヌ風俗画）と多岐にわたり、ほぼすべてが芹沢銈介の長男である芹沢長介の収集品です。父譲りの鋭い感性と審美眼を持ち合わせ、当館初代館長として就任してからは、北国の生活文化に関わる資料を精力的に収集しました。今回は約10年ぶりに当館所蔵のアイヌ資料を一室に展示します。女性の仕事として大切だった衣装作りは、樹皮を糸にして織ったり、木綿の生地を切伏や刺繍で飾ったりと独自の衣服を生み出しました。対して男性の手仕事である木工品は、祭祀用の捧酒箸や日用品の煙草入れ等の力強い見事な木彫り技術が魅力です。またアイヌ絵では、このたび秋田県のかほ市象潟郷土資料館より「蝦夷人物図六曲一双屏風」（個人蔵・かほ市象潟郷土資料館寄託）を借用し、当館所蔵の「アイヌ人物六曲一双屏風」と同時公開します。この2点の屏風には共通点が多く、今後のアイヌ風俗画研究にとって大変興味深い資料です。

アイヌの工藝を通して、自然と共存したアイヌ民族の文化を再確認し、すぐれた手仕事の造形を見直す機会にしたいと考えます。自然と意匠のつながりや民族の深い信仰のかたちをお楽しみください。

【イベント】

◆ 工芸館講座

- 11月5日(土) 「景勝地・象潟と蝦夷地のかかわり」
講師：かほ市象潟郷土資料館館長 齋藤一樹 氏
- 11月19日(土) 「ユーラシアからみたアイヌ文化」
講師：東北福祉大学教授 梶原洋 氏
- 11：00～12：00/場所：当館5階ロビー/
定員：各回20名（要予約、電話受付中）



ヌイトサイェブ【糸巻】

【入館料】 学生証の提示にて無料 【問い合わせ】 TEL 022-717-3318

【休館日】 日曜・祝日、大学入試期間（11/22～26、2/2～5）、年末年始（12/23～1/15）ただし、オープンキャンパス開催日は開館